
色々なキャラで逃走中

ネギトロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

色んなキャラで逃走中

【Nコード】

N6483Z

【作者名】

ネギトロ

【あらすじ】

デパートでの逃走中…逃げ切るのは誰だ!?

逃走中2話

デパートの前に集められた16人の逃走者たち…

その16人の前に4つのハンターボックスが置かれている…

そのボックスの前にあるボタンを押すと30秒後にハンターが放出
され

ゲームがスタートする！

マリオ「じゃあ押すぞ…」

ポチッ

マリオがハンターボックスを押した事により今から30秒後にゲームが始まる！

プリン「どうしよう…何処に逃げようかな…」

ナイト「…うっわぁ…マジ緊張してきた…」

リンク「急ぎましょう！あと少いでハンターが放出されます！」

そして……プシュ

4体のハンターが放出されゲームがスタートした！

マリオ「ついに始まったかあ……」

80分間のゲームが始まった！

ねぎすけ「やっぱりプロサッカー選手として逃げ切りたいですね……」

サッカー選手の名にかけて逃走成功を誓うねぎすけ

スタッフ「ハンターから撒く自信はありますか？」

ソニック「ああ…世界最速の俺なら簡単さ！」

余裕の表情を見せるソニック

スタッフ「今回は自首とか予定してますか？」

ピカチュウ「いや自首はしない…というよりしたくない。やっぱりハンターに勝ちたいからね」

自首をすればその時までの賞金が獲得できる

メタナイト「まず逃げ道を考えるべきだな」

冷静なメタナイト…近くにハンター…

メタナイト「とにかく見わたしのいい所をさが…！」

見つかった…

ピ

メタナイト「く…くそお！」

ポンッ

メタナイト「早すぎる…これは早すぎる…」

逃げ道を考える前に撃沈…

メタナイト確保 残り15名 残り77分

ピ

リンク「メールですね！」

ファルコン「え と…メタナイト確保!？」

デデデ「あいつ捕まったのか…早すぎるだろ…」

早くもカービィシリーズ残り1人になったデデデ…

ピーチ「メタナイトさんって俊足じゃないですか…ハンターって早
いんですね…」

たいよう「メタナイトってあの仮面の人か…あの人って結構早かつ

たよね…」

ネギトロ「つかまるの速いですね…これは早い」

残り76分

マリオ「ここづるさいなあ…」

ゲームセンターに来たマリオ…

マリオ「こことかにいるのもいいかもな」

いい隠れ場所を見つけたようだ…

ネギトロ「ミッションとかは基本的に行きたいですよね…」

スタッフ「試合とこのゲームどっちの方が緊張しますか？」

ネギトロ「このゲームの方が緊張しますね」

緊張しているネギトロにハンター…

ネギトロ「まあハンターが来たらせい一杯に逃げるのみです！」

見つけた…

ネギトロ「ん？…うわぁ…ハンター来た！」

逃げる元マイチーム代表…逃げ切れるか！？

ネギトロ「うっわあ！やべえ！」

わずかにネギトロの方が速いのか少しずつ差を広めている…

しかし前からハンター…

ネギトロ「…ってうわあ！はさまれた！」

ピ

なんと前のハンターをテクニクでかわした！

ネギトロ「おっと！」

階段に逃げ込むが…

ネギトロ「…うわああああああ」

まさかの3人目…ポンッ

ネギトロ「4人中3人って運悪すぎだろ…」

早くも散ったスーパースタ―

ネギトロ確保 残り14名 残り72分

ピ

ルカリオ「メールだな…確保情報！」

フォックス「え…ネギトロ確保!？」

ねぎすけ「え?ネギトロさん捕まったんですか?」

たいよう「うわぁ…ネギトロさんがぁ…」

マリオ「あの俊足までつかまるとか…マジ今回やばいだろ!」

「一体この先どうなるか!？」

続く

逃走中3話

残り71分

デデデ「自首とかも狙うべきかなあ……」

自首を考えるデデデ……

ピ

フォックス「メールだ！……ミッション!?」

マリオ「さあ！ついに来たかミッション！」

ミッション ハンターを止める！

デパートの各場所にハンターボックス3個を設置した

1つは1階の外の駐車場

1つは3階の書店

もう1つは5階の駐車場だ！

止めるには3人分の指紋認証をしなければいけない！

残り64分までだ！急ぎたまえ！

プリン「…うーんハンター放出はまずいけど…行きたくないなあ
…」

他力本願なポケモン

ピカチュウ「ちょっと行ってみましょうか」

こちらのポケモンはミッションへ行くようだ！

デデデ「行こう！1体でもハンターを減らした方が有利だからな！」

ソニック「書店って…結構近いなあ…よし行ってみるか！」

書店へ向かうソニック

残り69分

外の駐車場に1人でかい影…

デデデ「ここらへんだな……お！あつたぞ！」

ハンターボックスを見つけたデデデ

デデデ「ここに指を置けばいいんだな？……よしok！」

1階のハンターボックス残り2人……

ルカリオ「うむ……ボックスが見つからないぞ……」

3階の書店に来ているルカリオ……

ソニック「ん？へい！ルカリオじゃないか！」

ソニックと合流するルカリオ

ルカリオ「お前もミッションやるのか？」

ソニック「ああ！一応な！」

話している2人…しかしその近くにハンター…

ルカリオ「この際だから一緒に行動しないか？」

ソニック「それいいねえ！…ってハンター！」

見つかった…

あわてて2手にわかれる2人

視界にとらえたのは…

ルカリオ「く…くそお！」

ピ

ポンッ

ルカリオ「くそお…ソニック早い…」

逃げ切れず…

ルカリオ確保 残り13名 残り67分

ソニック「ヒュー・・・危なかったね…ん？」

奇遇にもハンターボックスを見つけたソニック…

ソニック「oh！これはラッキーだ！」

ガチャ

書店のハンターボックス残り2人…

ここでデデデも到着…指紋を認証して残りは1人

デデデ「あと1人誰か来ないかなあ…」

リンク「…ハンターいますね…」

近くにハンターを見たリンク

リンク「やべえ…こっちきました！」

隠れるリンク…やり過ごせるか!?

…ピ

見つかった…

リンク「うわあああああああ」

ポンッ

リンク「ダメだあ……」

リンク確保 残り12名 残り65分

ピ

マリオ「確保メール？その前に前のボックス封印しとくか！」

…ピンポンこれで3階のハンター放出は防がれました

マリオ「よしok！で…メールの内容は…」

ねぎすけ「ああ…リンクさん確保だって…」

これから一体どうなるか…そしてミッションの結末は！？

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6483z/>

色んなキャラで逃走中

2011年12月29日02時55分発行